

創業
77周年
記念

従来とは違う発想で、既存のものに新しい価値を創造!

ゆるみ止めねじ「ギザタイト」を 受験生にプレゼントしました

日東精工ではさまざまな用途に合わせたねじを製造していますが、そのひとつ、樹脂用のゆるみ止めねじ「ギザタイト」を「ゆるまない＝集中力が続く＝実力が発揮できる」シンボルとして、受験生にプレゼントするキャンペーンを今冬、企画実施しました。

当社が、今年2月11日に創立77周年を迎えること、その77という数字が歳の祝いで言えば「喜寿」にあたり、とても縁起がいいので、3回に分けてそれぞれ77名に贈ることにし、落選者をつくらないように、抽選ではなく申し込み先着順としたものです。



第一次募集は2014年12月22日に開始しましたが、ニフティなど多数のWebニュースで取りあげられたこともあり、わずか1日で予定数に達しました。2015年も年頭から地元誌、業界紙で紹介されたり、全国ネットのテレビでの放送が決まるなど露出が増え、3回の予定だったプレゼント募集を5回に増やす(2015年1月28日現在)などの対応をしています。

ゆるみ止めねじ「ギザタイト」を今回のキャンペーン用に、おめでたいゴールドに着色して、特別にティファニーブルーの小箱も用意。一見、高価なアクセサリーにも見



北近畿経済新聞 (2015.1.1)

える仕上がりになりました。「貴重なもの」「レアなもの」としての価値は、もちろん本家宝飾ブランドに少しも引けをとらないものです。そして、ねじの頭部が十文字(プラス)といったことなどが、受験生の希望や励みにつながることを願い、明るい合格報告を期待するものです。

今回のキャンペーンで ねじを「果敢なチャレンジ」の象徴に!

本キャンペーンは「ギザタイト」本来の使用ではなく、新しい販路を獲得するというものではありませんが、対外的には、ねじの大切さや当社・日東精工の事業を一般の方により広く知っていただくための広報・宣伝活動の一環となり、次代を担う若い人たちを応援するCSR活動にもつながりました。

また社内的には「既存のものをいろいろな角度から見直して、そこに新しい付加価値を見出す」「新たなものへの果敢なチャレンジ」という一例ともなりました。

なお、合格祈願グッズはお菓子や文具など単なる語呂合わせのようなものも含め多数出回っていますが、「ゆるみ止めねじ」は、これまでになかったものとして、前述のWebニュース以外にも、各方面から注目されています。一過性の話題作りではなく、真摯な企画として大切に育て、今後は学校や進学塾などと連携していく予定です。

なお、このキャンペーンの詳細などは当社が運営するWEBサイト「おもしろ、ねじミュージアム」でもご覧いただけます。

<http://blog.j-cast.jp/nittoseiko/>

拡大する「ウェアラブルデバイス市場」で、日東精工の極小ねじ、精密ねじ、ねじ締めロボットなどが担う役割&期待

2015年1月14日(水)から16日(金)までの3日間、東京ビッグサイトにおいて「第1回ウェアラブルEXPO—装着デバイス技術展—」が開催され、8万6000人(同時開催含む)が来場しました。伸長が確実視される市場で、当社の製品や技術が果たす役割はとて大きく、またビジネスチャンスが広がるものです。今号は「ウェアラブル」をテーマにした特集です。

「ウェアラブル デバイス」とは腕や頭などに装着して利用することを想定したコンピュータやデバイス(端末)のことで、「持ち運び」から、さらに一歩進んで「身につける」までにコンパクトになったものです。映画やSFの世界では古くから登場していますが、スマートウォッチやスマートグラスといった形で実際に実用・製品化が進んでいます。

めがねをかけるだけで3D映画やゲームが楽しめるといったエンターテインメント分野、腕にはめることで血圧や体温変化を瞬時に察知して発作を予防する医療機器開発などのヘルスケア分野はもちろん、流通・運搬、通信など幅広い分野での伸長が確実視され、今後、2018年にはウェアラブルデバイス市場は現在の6.5倍にあたる1兆2,000億円市場に急拡大するという予測もあるほどです。

ヒットの影には必ず日東精工の技術あり

日東精工は、これまでこういった技術革新のエポックメイキングの現場を支えてきました。

たとえばオーディオカセット、VTRカセットが一世を風靡していた時代、しのぎを削る世界のテープメーカー各社では、当社の自動組立機で当社のタッピンねじを使って、24時間体制で生産が行われていました。さまざまな高度でハードな要求に応え続けることで、日東精工のタッピンねじは「神様ねじ」とユーザー(顧客様)から評価されるほど高品質なものとなりました。

カメラ業界からの開発要請に応じたねじも、ねじ製造設備をはじめ製造工具まで自社内で準備出来る生産技術と、それまでに培った熱処理・メッキの技

術を駆使し、業界からの要求をクリアし、カメラ業界規格として認定されています。このカメラ用のねじは、軽薄短小の波にのって、多くの精密機器に使用されることになり、ニッポンの精密機器の世界飛躍の影の主役となったのです。

その他、車、家電製品、IT・コンピュータ、医療機器の開発を当社の製品や技術が下支えをしている例は、枚挙にいとまがありません。

ウェアラブルデバイスにオーダーメイドで対応できる強み

今後拡大が確実視される「ウェアラブルデバイス市場」においても、当社の製品や技術が必需なものとなることは、もちろんいうまでもありません。

既述しているように、単なる製造技術だけでなく、製造するための道具や金型、組立などまですべて一貫して自社内で対応できる体制になっていることが当社の強みでもあるのです。ユーザー様のあらゆるリクエストに、きめの細かいスピーディな対応ができ、「なければつくる。生み出す」ことができるシステムを構築しています。各業界から大きな期待をこめられていますし、またそれにしっかり誠実に応えていかなければなりません。

今回東京ビッグサイトで開催された「ウェアラブルEXPO」に出展することで、既存のお客様には当社の技術や潜在力を再認識してもらうことができました。また伸長する熱気ある分野に集う世界中のさまざまな業界の方と情報交換することもでき、連携や新規顧客獲得の道筋も見えています。

「ウェアラブルEXPO」に出展した 当社の製品の一部をご紹介します。



「ウェアラブルEXPO」では極小・精密ねじをはじめとした工業用ファスナー製品を多数展示する他、高精度ねじ締め機・マイクロバブル洗浄装置の実機を展示し、当社の特徴である事業部が連携してお客様に応じたプロセスをご提案するファスニングソリューションを紹介しました。

工業用ファスナー (ねじ)

呼び径わずか0.6ミリの極小ねじをはじめ、頭部に文字やイラストを刻印し意匠性を持たせたり、不正を防ぐデザイン精密ねじ。めがねの可動部など用途に合わせたゆるみ止めねじ、高周波ねじなどをパネルと実物で紹介。



マイクロバブル洗浄機

薬品を使わず、水と微細な空気の泡だけで油汚れを洗い落とすマイクロバブル洗浄機は、環境にやさしい次世代の洗浄機として注目。

ねじ締め機シリーズ

極小ねじ、精密ねじは、それを締めるドライバも重要。ドライバから供給機、周辺機器まですべてを当社オリジナルで提供が可能。



「ウェアラブル展」は各局テレビニュースで朝夕夜に何度も取り上げられた人気展示会。日東精工ブースは「世界を動かす、小さな製品」というキャッチフレーズのもと、当社製品を実物とパネル説明で紹介。ねじ締め機の体験コーナー（写真右）も大盛況だった。

「創立」の記念月に「立卵」はいかが



「コロンブスの卵」という話をきいたことがありでしょう。

アメリカ大陸の発見は誰にでもできると批判する人々に対して、

コロンブスが卵をテーブルの上に立てることを試みさせ、だれもできないのを見て、「私はできる」と

卵の尻を潰して立ててみせた……一見簡単そうなことでも、初めて行うのは難しいし、他とは違う着想が必要だというたとえです。

この有名な逸話から「卵はお尻を潰さないと、ごろごろして立たない」と思い込んでいる人が多いようですが、じつはこれは間違いです。そもそもほんとうは誰でも卵を立てられるものなのです。

卵の殻の表面には目に見えないほどですが、凹凸があります。この中の3点を、立てたいテーブルか、台との接点にして、この中心に卵の重心がくるようにすればいいのです。卵の細い方を上にしてお手でも静かに支えながら位置を探るようにしていると、すっと手離

れた感触があり、立ってくれます。立ちさえすれば、後は、安定感があり、すぐに倒れるようなこととはありません。

これは1947年に有名な物理学者・中谷宇吉郎博士が発表し世界中のニュースとして、大きく報道されたもの。興味のある方は、先生の随筆「立春の卵」を読まれるとよいでしょう。中谷博士は「何百年の間、世界中で卵が立たなかつたのは、皆が立たないと思つていたからである。(略)これと同じようなことが、いろいろな方面にありそうである。そして人間の歴史が、そういう瑣細な盲点のために著しく左右されるようなこともありそうである」と書かれています。「目からウロコのコロンブスの卵」の話にはじ

つは、さらに別の意味の「目からウロコ」があったわけですね。

思い込みは、マイナスにも、プラスにも働くの

で、うまくコントロールしたいものです。ビジネスの場では、改革や新製品開発の発想を妨げているのも思い込みに起因することが少なくありません。こういった思い込みを防ぐには「見える」、「聞こえる」ことを、ただ網膜などに映つたまま、放置しておくのではなく、見た後に考える、あるいは聞いた後に考える習慣をつけること

でしょう。これが「見える」から、「見極める」につながります。

もちろん、思い込みのプラス面は、大いに活用したいものです。今回のプロジェクトは必ず成功する。あるいは、この交渉は、きつとうまくまとまる。といった自己暗示ともいえる思い込みは、思い込むことで「自信」に昇華して実

現することも多いものです。今年、2月は「立春」そして当社・日東精工創立の月です。マイナスの思い込みなる鬼を払い、プラスの思い込みなる福を招きましよう。そして卵も「立卵」させてみてはいかがでしょう。

(経営コンサルタント 蒲田春樹)

「人生の「ねじ」を巻く77の教え」(ポプラ社)は当社オリジナル教則本を一般向けに再編集したものの書籍に掲載していないものや重複しても更新していくべきものを随時ここでご紹介していきます。



「人生の「ねじ」を巻く77の教え」(ポプラ社)は当社オリジナル教則本を一般向けに再編集したものの書籍に掲載していないものや重複しても更新していくべきものを随時ここでご紹介していきます。

バレンタインデーで活躍する？こんなオモシロねじ！

かりんとうなどで「ねじ」と名前がつくお菓子を見かけることがありますが、本物そっくりのチョコレートのねじを見つけました。ポルトナットの形をした、神戸フランツのギミカルチョコレート。精巧に造られたねじ山で、2つのチョコがきれいに合体。食べるのがもったいないぐらいですね。今年のバレンタインには間に合わないかもしれませんが、プレゼントしたり、されたりにおすすめです。

